

医学系研究に関するお知らせ及び御協力のお願い

当院では、以下の医学系研究を実施しております。この研究では、当院の検案・解剖業務の過程で得られた試料・情報を使用することがあります。この研究は、当院の倫理委員会の承認を得ており、関係省庁が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を守り、個人情報保護に配慮して実施いたします。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へ御照会ください。

【研究課題名】

死後経過時間が血中 β -ヒドロキシ酪酸値の解釈に及ぼす影響

【研究の目的、方法、利用する試料・情報】

1. 目的

近年、糖尿病性ケトアシドーシス (DKA) による死亡例は増加しており、東京都監察医務院の行政解剖では 2024 年に 60 例と 10 年前の約 3 倍に達した。DKA の診断指標のなか、 β -ヒドロキシ酪酸 (BHB) は死後も比較的安定した推移を示し、信頼性が高いとされるが、死後経過時間に伴い値が上昇する可能性も報告されている。そこで本研究は、過去 20 年間の行政解剖から得た大規模データに対し、背景因子のマッチングを実施したうえで死後変化に伴う血中 BHB 値の変動を統計学的に検討し、実務における死因診断の精度向上に寄与することを目的とする。

2. 対象

過去 20 年間 (2005～2024 年) の東京都監察医務院の行政解剖例のうち、血中 BHB を測定した症例 7356 件

3. 方法

死亡から解剖までの時間別に「早期群 (24 時間未満)」と「晚期群 (48-72 時間)」に区分した後、性別、年齢 (3 区分)、および死因を用いて背景因子の頻度マッチングを行い、統計解析を行う。

【研究の対象者】

過去 20 年間 (2005～2024 年) における東京都監察医務院での行政解剖例のうち、血中 BHB を測定した方

【研究及び試料・情報の管理を行う機関】

【研究代表者】 東京都監察医務院 検査科 主事 伊藤 和穂

【研究責任者】 日本医科大学法医学分野 大学院教授 金涌 佳雅

【研究実施期間】

開始：2026 (令和 8) 年 4 月 1 日 終了：2029 (令和 11) 年 3 月 31 日

【利用の停止】

本研究への御協力については、御遺族の意思を尊重いたします。研究内容に関して不明な点がある場合や試料・情報の利用に同意されない場合には、以下の【問い合わせ先】まで御連絡ください。

【問い合わせ先】

所属：東京都監察医務院 検査科

氏名：伊藤 和穂

住所：東京都文京区大塚 4 丁目 2 1-1 8

電話：03-3944-1481